

“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2003 8 No.621

発行日 2003年（平成15年）8月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>
編集発行人 清水勝夫
定価 100円（郵送料込）
印刷所 神奈川新聞社
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「人との出会いが素晴らしい」岡本高宏さんは、難聴の方を支援するパソコン要約筆記ボランティアグループ「PCかながわ」の講師を務めている。上達してくると聞いたものをすぐ入力でき楽しくなるが、読む人の立場になり、話しの内容を汲み取った文章を要約して表現することが大切という。「必要としている方々のために、教える人を育てる事が今の課題。活動をして良かったのは沢山のひとと巡り会えたこと。私の妻は難聴ですが、この活動を通じて知り合った人なので」と嬉しそうに話す。（写真・文 菊地信夫）

あんぐる

娘がこの秋結婚します。お相手は九十五歳の祖母と二人暮らし。お母さんは彼が十五歳の時、病気でなくなっています。お父さんの仕事先が名古屋だったので、孫を一人にしてはおけないと、住み慣れた町から孫の住む町に移ってきて、育ち盛りの彼の食事の世話などをされていたとか。当時八十歳だった方にとって、家事全般をすることは大変なことだったでしょう。

娘はその中に入っていく様子。ですから、嫁入り道具はありません。身の廻りのものを持って行くだけです。若い二人は、おばあちゃんの生活をできるだけ変えないようにと考えているようです。

一人娘なので、母親としてもっと気楽な生活をさせたいと思うのですが、反対はできません。せつかくの巡り合いを大切にしたいと思うからです。

今年の共同募金は、人と人のかかわりの中、住み慣れた町で安心して暮らせることをテーマとしています。

娘が、お年寄りとの暮らしを自然体でできれば、それが理想なのだと思身に言い聞かせているところです。

「めぐみ、おめでとう。幸せにね」

県共同募金会事務局長 岡村良子

目次

福祉サービス向上に向けた苦情解決の取り組み	2・3
官製市場の民間開放を目指した答申公表される	4
市民によるオンブズマン活動を育てる	5
法人経営の基盤強化をめざして	6
かながわ長寿社会開発センターいきはつらつ	7
連載・心のゆたかさをはぐくむ(5)	10・11